

第4回 伊良湖岬中学校統合準備委員会 会議録

日時	平成30年3月27日（火）19時00分～19時58分
場所	渥美文化会館 大会議室
出席者	委員（21名） 小久保正吾、牛田久美夫、山本晴樹、小久保秀人、平尾昭弘、小久保重子、中村昌博、藤井崇文、高瀬美穂、田中秀一、鈴木正三、田中啓介、橋本省三、天野千栄子、吉川孝光、清田大治、河合道博、渡邊宏光、小川眞知子、久瀬正弘、小林 琢 事務局（8名） 花井教育長、大根教育部長、伊藤教育総務課長、杉田学校教育課長、小久保地域課長、矢野学校教育課指導主事、小久保教育総務課長補佐兼係長、鈴木教育総務課主任、彦坂教育総務課主任
欠席者	河合博之委員、小久保裕樹委員、真野多正委員、中尾利之委員、宮川敏彦委員、渡邊尚之委員
傍聴者	1人
	《事前の資料確認等》
事務局	配付資料の確認 ・次第 ・資料1 これまでの経緯 ・資料2 福江中学校同窓会会則 ・資料3 田原市立福江中学校父母教師の会会則 ・資料4－1 福江中学校バス停位置図 ・資料4－2 福江中学校バス停留所整備図面（案） ・資料4－3 スクールバス運行検討図
	《開会》
事務局	ただいまから第4回伊良湖岬中学校統合準備委員会を始めさせていただきます。 なお、本日の会議は公開としておりますので、どうぞご了承いただきたいと思っております。 それでは、はじめに、花井隆教育長からご挨拶を申し上げます。よろしく申し上げます。
	《教育長挨拶》
教育長	失礼いたします。教育長の花井です。 年度末の大変ご多用の中を、本日、第4回伊良湖岬中学校統合準備委員会にお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。 福江中学校区と伊良湖岬中学校区のそれぞれの各コミュニティ会長、PTAの役員、学校の先生方の参加を得まして、統合準備委員会として本年度、まとめを行うという会であります。本日に至るまでの経緯とか、PTA部会、教育課程部会、通学体制部会からの報告などがありますので、ご審議いただきたいというように思います。

	<p>実は昨日、本年度最後の学校再編にかかわる会議を行いました。3年ほど前につくられた学校全体配置計画を見直して、実は1月末開催の第3回の会議で新たな計画を、学校未来創造計画という形で名称を変更しまして、昨日の第4回の会議におきまして、その中間報告をさせていただきました。この計画もなかなか煩雑なものを含んでおりまして、当初の予定より少し時間がかかっておりますので、ここでお知らせしたいと思うのですが、何とか来年度中、平成30年度の中では策定を終えていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>中学校の統廃合につきましては、伊良湖岬中学校と福江中学校の統合まで、あと1年と迫り、泉中学校と赤羽根中学校の統合は、3年後の平成33年4月ということで、今、進んでおります。平成33年の夏ごろには伊良湖岬中学校の跡地に伊良湖岬小学校の新校舎を完成させ、児童の登校が開始といった予定で進んでおります。中には、「教育長、本当に伊良湖岬小学校をつくってくれるのか」というような伺ひ等もありまして、一応、着実には進んでおりますので、ご理解をいただきたいというように思ひます。</p> <p>本日も、会の終わりに皆様方の質問や意見等をお聞きする時間もありますので、いろいろな立場からお声をいただいて会を進めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは、ここから議事に入りたいと思ひます。</p> <p>ここからの議事の取り回しにつきましては、設置要綱第6条に基づきまして、委員長にお願ひいたします。どうぞよろしくお願ひします。</p>
委員長	<p>失礼します。</p> <p>僭越ですけれども、微力ですが、どうか皆様のご協力の中でやっていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。座らせていただきます。</p>
	《これまでの経緯について》
委員長	それでは、まず初めに、これまでの経緯について、説明をお願いします。
事務局	<p>それでは、これまでの経緯について、説明させていただきます。</p> <p>資料1をご覧ください。</p> <p>まず資料1の中の統合準備委員会については、これまで3回実施しておりまして、本日が4回目となります。</p> <p>第1回目が平成28年11月29日。委員長、副委員長の選出、指名等も行いまして、年間スケジュール等の説明をさせていただきました。</p> <p>第2回目を平成29年1月24日に行っております。新入生の部活動について、どのように新設、開始していくかということを決めさせていただいたものを専門部会から報告いただきました。</p> <p>それから、新入生の服装について。中学校の3年間については、伊良湖岬中学校、福江中学校のどちらの服装、持ち物でも可とするということのご報告をいただいております。また、体操服等につきましても、そういった流れで決まっております、ただ、伊良湖岬中学校の特色ある行事を継承していくために、伊良湖岬中学校の夏</p>

用の体操服を上下1着は準備していくというような報告もございました。

第3回目を平成29年7月13日に開催しております。これまでの経緯ということで、平成28年度から開催した各協議内容の報告をさせていただきまして、委員長の選出、副委員長の指名、また専門部会の部会長等の任命をさせていただきました。

続いて、専門部会のこれまでの経緯でございます。

まず教育課程部会ですが、こちらも、これまで4回の専門部会を開催しております。

第1回の平成28年12月6日には、部活動体制について、それから服装の規定についてといったことを部会で決めております。部活動の体制につきましては、伊良湖岬中学校に新たな部活動を新設、大会等への参加の仕方、大会におけるユニフォームの混在の承諾、伊良湖岬中学校と福江中学校との合同練習の仕方といったものを、この部会で協議させていただいております。服装については、制服の基本的なスタンス、それから体操服、体育館シューズ、ウインドブレーカー、通学バッグ、通学シューズ、上履き等の調整をしております。

第2回では、部活動体制、服装について第1回に引き続き協議をしております。

第3回は、平成29年3月15日。今後のスケジュールの説明としまして、事前交流事業、部活動交流事業についてのスケジュール説明。それから、学校行事をどういった形で日程を決めていくかということの説明。特に体育大会、合唱祭、修学旅行等の調整をしております。さらに、服装、持ち物、校則についてということで協議をしております。服装については、ほぼ検討が終了したという時期でございます。それから、生徒役員の選出方法についても、専門部会で調整しております。

第4回目を、平成29年12月11日に開催しております。修学旅行についての説明ということで、日程や旅行先、行程等の案を提示させていただいております。

さらに、平成31年度の年間行事予定ということで、統合後の行事について、福江中学校のものと同様に作成していくという流れで協議をしております。また、大きな行事については、早めに決定していくというようなものでございました。平成31年度は、4月中旬に3年生も1泊の合宿実施の予定をしているところでございます。

もう1点が、制服の変更ということで、これは福江高校と同型の制服の変更に向けて検討を開始するなど、報告をいただいております。平成31年度入学生からの変更ということで、現在使用している両中学校の制服の着用も認めていくという方向で進めてまいりました。

次に、通学体制部会についてです。

第1回目を平成29年3月9日に開催しております。遠距離通学の基本方針についての説明をさせていただきまして、伊良湖岬中学校及び福江中学校の校区図をもとに、通学路としての路線を検討しております。統合年度の平成31年度における伊良湖岬中学校からの生徒数の見込みの説明をさせていただきまして、スクールバス、

通学時のルートの検討をしております。

第2回を平成29年8月30日に実施いたしました。第1回までの確認をした上で、検討事項をさらに詳細に検討してまいりまして、スクールバスの必要台数を3台で進めていくということ、この中で協議しております。さらには、3台にした場合のバス停の位置等も協議をしております。

第3回目としまして、平成29年10月12日に開催させていただきまして、福江中学校の校舎内へのバス停の案としまして、学校の武道場横のグラウンドを整備してバス停とするということ、さらに正門の県道を挟んで向かい側にカーブミラーを設置したいという要望をしていくことの承諾をしております。

それから、スクールバスの運行ということで、運行ルートにはどの形のバスが必要かという見積もりをとって、再度台数の検討もここで調整を図ったところでございます。

続いて、地域部会になります。

平成29年8月21日に、まず1回目を開催しております。式典の行事等につきまして、ここで調整、検討しております。閉校式、それから閉校記念誌、受入式、さらには同窓会、歴史・伝統の保存等について、協議をしております。

また、割り振りや期日の確認ということで、福江中学校の受入式については平成30年度に検討していく、さらに同窓会、それから伊良湖岬中学校の閉校式、閉校記念誌についても、平成29年度から検討しております。歴史・伝統の保存、同窓会についても同様でございます。今後の進め方としまして、各グループでさらに集まりまして、意見を集約し、その後の部会で検討していくというものでございます。

第2回目を平成30年2月15日に実施しております。同窓会については、存続をしていく。会則については、現在の福江中学校のものを基本として作成していくということです。

それから、閉校記念式典につきましては、まだ予定ではございますが、平成31年3月14日を予定として、今後調整をしていくというものでございまして、歴史についての写真、記事等を募集していくという予定。さらには、生徒によるわかたか太鼓等の伝統がございますので、そういった披露をしていく。さらには、地域の方のためにも校舎見学を行っていただく。記念誌として、写真等を印刷したクリアファイルを校区へ配布。さらには、ドローン等を使って、上空からの撮影や、校歌を歌っているところを録音したCD等もつくっていききたいといったところを検討しております。

そして、歴史・伝統の保存ということで、校内にあります石碑や書画、文書、写真等の保存先を、こちらの事務局と調整を今後も図っていくということ。さらに、わかたか太鼓につきましては、伊良湖岬校区にサークルとして残していただくとのことになるという予定の協議をまいりました。

P T A部会についてです。

第1回を平成29年8月21日に実施しております。会則としまして、福江中学校の

	<p>ものに準じて作成をしていくということ。そして、PTA委員等の人数ということで、亀山、清田合体バージョンといいますか、4役(案)という方向で、現在、各学校へ持ち帰り、人数等の検討をいただいているという状態でございます。</p> <p>以上が、これまでの統合準備委員会、それから各専門部会の経緯となります。説明を終わらせていただきます。よろしくお祈いします。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、それぞれの部会の説明をさせていただきますが、いろいろなご意見、ご質問は、この四つの部会の説明が終わってからやりたいと思いますので、よろしくお祈いいたします。</p> <p>それでは、最初に、地域部会長の伊良湖岬中学校の清田校長先生、お祈いします。</p>
委員	<p>お祈いします。</p> <p>今、話がありましたとおり、地域部会のページをお祈いします。1回目に、このように、とりあえずどのように仕事を進めようかということがわかっていなかったもので、その日にやりました。大変遅くなってしまったわけですが、その後、いろいろ検討して行って、同窓会は先ほど資料がありましたけれども、また後でうちの教頭から簡単に説明します。同窓会については、福江中学校と伊良湖岬中学校の同窓会長、そして私どもが集まりまして、どのようにしていくかということで話をし、それぞれの学校の同窓会の役員の方たちにこれを諮って、了解を得て、このような別刷りのもののような案を出させてお祈いしております。</p> <p>閉校記念式典については、今のところ予定であります、3月14日ということで、一応、年間行事予定を立てているものですから、そのあたりではどうかと。これは、卒業式が終わった後、そして公立高校の入試が終わった後、できたら発表の前ということで、今の2年生が、来年、もう卒業式が終わってしまいますが、この閉校記念式典には、1年から3年までを集めて開きたいというように思っておりますので、そのような時期でどうかと。一応、公立高校の発表が、多分19日くらいですので、その前にはやりたいというように思っております。ただ、平常日にしてあるものですから、ひょっとしたらこれが移動というようなこともあるかもわかりません。地域の方の中には、還暦のお祝いをここまですらしておいて同窓会をやりたいなど。閉校記念式典の日に合わせてやりたいという声も少し聞いてお祈いしておりますので、今後この予定については流動的ということでお祈いをしたいと思っております。</p> <p>あと、閉校記念式典には、できたら体育館の壁にいろいろな、今までの古い写真とか、そういうものも全部残していきたいというように思っておりますので、4月当初には、またコミュニティの会長たちにはご足労願いますが、いろいろな校区から古い写真等がありましたら募集をして、それを集めていきたい。本年度は、今までのうちの航空写真というものがなかったものですから、たまたま伊良湖岬小学校やほかの市内の小中学校も撮るといことで、声をかけていただいたものですから、航空写真も撮りまして、生徒を通して校区に販売もしましたが、そういうものもあわせて話題にして皆さんに見ていただけたらと思っております。</p>

	<p>その後については、いろいろ後に書いてある通りであります。いろいろなものを残す場所にも飾れたら、また市民館にも、それぞれ分けて飾っていただけたらというように思っております。</p> <p>生徒の演舞やわかたか太鼓の披露も、終わった後に入れたいと思いますし、校舎見学等も考えていきたいと思っております。</p> <p>あと、クリアファイル、写真や校歌の楽譜が簡単に載ったもの、またDVDのような感じで、ドローンで撮影したものやいろいろなものを入れて、校歌は来年度の全校で歌ったものを録音して、そういうものも入れて生徒にと。来年の合唱祭のときに、全校でも校歌が歌え、それを録音できたらというように今、考えております。</p> <p>あと、歴史・伝統の保存につきましては、いろいろな石碑や書、絵画等がありますので、当然福江中学校にも持って行って、本校の卒業生の者が福江中学校にあるという形をとりたいと思っておりますので、それをお願いをしながら、細かくはまだ確定ではありませんが、幾つか決めてあるものもあります。ただ、ほかの文集とか、1950年から文集「わかたか」も全部とってありますし、卒業アルバム、沿革史等がいろいろありますので、そういうものをどこかに残していったほうがいいのではないかと。地域のために何とか残して皆さんに、今までここに学校があったということが、学校文化が継承されるような状況を考えて動いておりますが、まだ場所の確定をいただいておりますので、そちらが決まり次第、残すということで、細かく用意をしたいというように思っております。</p> <p>あと、先ほどありましたが、わかたか太鼓につきましては、歴代PTA会長の会というのがありまして、その方たち4名にお願いして、それと本校の、今の河合教頭も地元ですし、教育委員会にも地元の小久保先生がおりますので、一応、中心の世話人として、1年の間にいろいろともう少し輪を広げて、細かい決まりごとというのか、運営をしていく上での決まりを考えながら、地域にわかたか太鼓をサークルとして残したい。中学生だけではなくて、高校生や一般の方も入れて、わかたか太鼓を地元に残したいというように思っております。それにつきまして、今ある和太鼓とか、いろいろなものであります。市当局の方にはお願いをしまして、何とかそのサークルにその物をおろしていただけたらということで話を進めているところであります。</p> <p>以上であります。</p>
委員	<p>続いて、同窓会について、お願いいたします。</p> <p>伊良湖岬中学校の同窓会、それから福江中学校の同窓会の規約をあわせて検討しました。多くは、それほど違いはありませんでしたので、福江中学校の同窓会の会則をもとにして、この赤字で書いてあるところが変更してある部分です。</p> <p>第9条のところに、「総会は全員の出席の上で開会することを原則とするが各小学校区より選出された」という形で、各小学校区で選出をいただくような形を考えております。そして、この同窓会というのは、中学校卒業と同時に、自動的に卒業生ということで入っていくものですが、第12条では入会金が1人300円というようにな</p>

	<p>っております。</p> <p>裏面の会則内規をご覧ください。これが役員を選ぶ際の一つの内規ということで、ここに記載をさせていただきました。このような形でどうかというように考えております。</p> <p>申し合わせ事項としても書いてありますが、これくらいでというようなご意見がありましたので、そこに少し載せさせてもらっています。これは、学校長も言いましたけれども、各学校の同窓会の会長が役員の皆さん等にも伝えて、了承を得ております。よろしく願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、続きまして、PTA部会を、副会長の福江中学校の小林教頭先生、お願いいたします。</p>
委員	<p>失礼します。</p> <p>先ほどの専門部会、PTA部会というところですが、第1回が8月21日に行われまして、会則につきましては、資料3に載せてあります。</p> <p>主に福江中学校のものに準じて作成ということで、現PTAの父母教師の会会則等で進めていくということで行きたいと思っております。</p> <p>PTA委員等の人数ということで、また資料1の枠の中の下になるのですが、亀山校区と清田校区を合体させて4役と。伊良湖岬小学校区も入り、5という小学校区になるのですが、亀山小学校区と清田小学校区を合わせても、伊良湖岬小学校区の人数のほうが多いということで、PTA役員の割り振り等も考えていくと、児童生徒の数で、同じ人数のほうがいいのではないかという意見で、亀山・清田合体バージョンで、伊良湖岬小学校、中山小学校、福江小学校という形の、四つの地域からの役員という方法で決めました。それを持ち帰って、伊良湖岬小学校区、福江小学校区のPTAの会にも諮って、それで異議はないということで決定しております。</p> <p>また、活動内容等につきましては、平成31年度から合体してPTAの活動等に入っていきますので、それについては今後検討して、よりよいPTA部会活動になればということで、平成30年度に具体的な方法を考えていきたいと思っております。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、続きまして、教育課程部会から、部会長の福江中学校の久瀬校長先生、お願いいたします。</p>
委員	<p>こんばんは。よろしく願いいたします。</p> <p>先ほど事務局から伝えていただいた資料1の裏をご覧ください。専門部会の教育課程部会。第3回までは昨年度行われたものですので、第4回をご覧ください。</p> <p>平成29年12月11日に行われた会議です。修学旅行についての説明ということで、平成31年5月14日から16日の日程で行います。旅行先は東京方面2泊3日。</p>

行程につきましては、今、旅行会社と調整中ですが、東京オリンピックの前年度に当たりますので、オリンピック関連の施設やプレ・オリンピック等の行事を今調べておりました、何か一つ思い出に残るような修学旅行にできればということで進めております。

それから、平成31年度の年間行事予定ですが、基本的には福江中学校が行っている行事をベースに行っていきたいというように考えておりますが、これにつきましては、来年度、詳細を決めていきたいと思っております。

それから、平成31年度の4月中旬に、今の1年生になりますが、当時3年生になっておりますので、3年生については、1泊の合宿を実施する予定でおります。理由は、これは昨年度、話し合いの中で出ましたが、統合後すぐに修学旅行を行うため、福江中学校、伊良湖岬中学校の生徒の人間関係がどこまでつくっていくかという不安があるという声がありましたので、その不安の解消のために、1月くらい前に1泊で修学旅行のことを考えるような行事をつくりたいと思います。場所は、今のところ市内の宿泊所を考えております。まだ予約はしておりませんが、できれば休暇村等を使って1泊。1泊2日といいたしても、午後に出て行って、夜、学習会等を開き、修学旅行の班を決めたり、行き先でどういうことをやるかという、修学旅行絡みの学習を進めて、次の日の朝食を食べて学校に帰ってくるような形の、ほぼ1泊1日のような形でできればと思っております。これにつきましては、食費以外は市が出していただけるということですので、交通費や宿泊費につきましては、統合関連行事ということで、統合後になりますが、ご支援いただけるということで進めていきたいと考えております。

制服についてです。これは、昨年度はなかった話なのですが、福江中学校と福江高校、そして本年度、伊良湖岬中学校と福江高校が正式に中高一貫校になりました。その絡みで、制服を福江高校と基本的には同じ形を変えていきたいという声も上がりまして、今、それぞれの関係する小学校、中学校には、検討しますが、検討していきたいと思っておりますというところでとまっております。今、概ね、その方向で検討してくださいということになっておりますので、年度がかわりましたら、具体的にどのような制服の、形としては、ほぼ決まっているのですが、中に着るブラウスや夏服については、福江高校と多少差別化をしていきたいということもありまして、子どもたちの意見を聞いて進めていきたいというように考えております。現状は、進めていってもいいのではないかとということで、正式決定はまだ出されておられませんので、またここで強力なご意見があれば少し延びるかもしれませんが、現実には制服検討委員会というものを開いて進めていくことになっておりますので、できれば進めさせていただきたいというように考えております。その制服にかえるのは今の1年生からですが、強制ではありませんし、今の福江中学校、伊良湖岬中学校の制服が混在することも可とします。

お金につきましては、女子の場合は全体として若干安くなります。男子の場合は、制服の高い、安いが非常に差があるものですから、高級なものを着ている子からす

	<p>ると安くなりますが、標準のものを着ている方からすると、ひょっとしたら少し高くなるかもしれません。男子については、福江高校もまだ正式な決定がなされておられませんので、福江高校と歩調を合わせて決めていきたいと思います。</p> <p>福江高校のほうは、正式には11月15日の開校記念のところで決まるようですが、当然それまでには形等が決まっておりますので、それに並行して進めていきたいと考えております。男子のほうも、今、学生服を着ておりますが、福江高校もブレザー型にかかわるということで、合わせていきたいと考えております。</p> <p>ちなみに、市内の成章高校、渥美農業高校につきましては、男女ともにブレザー型になっているという現状もあります。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、通学体制部会の部会長、堀切の牛田会長、お願いします。</p>
委員	<p>失礼します。</p> <p>先ほど説明にもありましたように、今年度、通学部会としては、8月30日と10月12日に開催しまして、大きく二つのことについて決定しました。</p> <p>1点目は、福江中学校のバス停について、武道場の東側に決定しまして、別添資料4-2のとおりバスの出入りを可能にするために、植栽を一部撤去しまして、運動場の一部を舗装するなどして整備をしていく予定です。</p> <p>2点目は、統合に伴って遠距離通学ですね、おおむね6キロメートル以上ということになりますが、そうなる生徒の通学支援として、スクールバスの運行について、部会では、委員の方から台数、経路についてさまざまなご意見をいただきまして、だいぶ紛糾もしましたが、関係するPTA会長、部会長及び市教育委員会と話をしまして、現段階では3台で運行することでまとまりました。土田・和地・川尻地区で1台、一色・小塩津・堀切地区で1台、日出・伊良湖地区で1台の計3台で運行する予定であります。</p> <p>運行ルートについては、資料4-3のスクールバス運行検討図に緑の点線で示したルートを予定しております。</p> <p>バス停につきましては、和地地区で2か所、堀切地区で3か所、伊良湖地区で1か所との意見が出されまして、次年度以降、バスの出発時刻やバス停の整備、また部活動などがありますので、その送迎及び帰りの時刻等について検討を行っていく予定であります。</p> <p>以上でございます。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>各部会からの協議結果等の報告がありました。ご意見、ご質問がございましたら、どうぞよろしく願いいたします。</p>
委員	すみません。
委員長	はい、どうぞ。
委員	通学路の関係ですが、これでいくと、堀切からそのまま福江中学校を目指すとい

	うことで、一色や小塩津は総合体育館から乗るということで、確定でよろしいでしょうか。
委員	それでいいと思います。
委員	では、総合体育館には、子どもたちが確実にそこまで自転車で来ると思います。そういう自転車置き場のようなものもつくっていただけるということでしょうか。
委員	それは今からの要望になりますけれども、堀切もそうですが、自転車置き場は一応要望していくようにお願いしてあります。
委員長	市のあれは、どうですか。西山とか、結構遠いところもあるので、実際、小塩津や堀切よりも遠いんですよね、西山も伊良湖に近いほうでは。その辺は、どうですか。今から協議するのですかね。
事務局	はい。今、資料4-3にございますとおり、絵の左側に、西山地区についての生徒数も、ここに記載させていただいております。これは、現在は伊良湖岬中学校の生徒が福江中学校に通学するためのスクールバスとして検討しておりますが、当然先ほど言われたとおり、距離的な問題、それから遠距離の生徒の負担解消ということになりますので、この平成30年度に、この部分も検討の中に入れてさせていただいて調整を図っていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。
委員長	ほかにどうでしょうか。
委員	すみません。
委員長	どうぞ。
委員	よろしいですか。
委員長	はい。
委員	先ほどのスクールバスの運行の予定で、この予定表の中で小学校が、現在運行して、使用しているバス停と重なっているところと、それから時間帯があるので、やはり交通の出入りとか、そのあたりもご検討、十分考慮いただいた上での運行をお願いしたいということです。参考までに申し上げますと、重なっているのが、伊良湖・日出地区の伊良湖市民館バス停ですね。この7時35分というのが、小学校のバスの7時35分と重なっております。 それから、堀切・小塩津・一色地区の常光寺ですね。ここは小学校も使用しております。時間は7時35分になります。 それから、堀切小学校の跡地のバス停ですね。ここも重なっております。時間は7時40分です。 それから、和地信号のバス停ですね。ここが重なっております。ここは全体が集まる場所になりますが、バスが3台集まります。時間は7時50分になっています。 ご考慮をお願いします。
事務局	ありがとうございます。 先生のおっしゃるとおり、現在伊良湖岬小学校がスクールバス3台で運行させていただいております。それで、平成31年、1年後の4月には、プラス3台、今、検討の中では3台ということで、この伊良湖地域には6台がほぼ同じ時間帯にスクー

	<p>ルバスとして運行されますので、小学校のほうも当然検討の中で相談させていただきながら、子どもたちに危険が及ばないように時間調整もさせていただきながら、また学校の登下校の時間に遅れないという前提もありますので、その辺も調整させていただきます。</p>
委員長	<p>ほかにどうでしょうか。</p>
	<p>《その他》</p>
委員長	<p>それでは、その他ですが、事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>すみません。</p> <p>これで、今回経過報告をさせていただきまして、冒頭、教育長が申しましたとおり、あと1年ということで、最終的な調整に入っております。現在、年度末ということで、皆様方が、役員の交代とか、学校の先生方もはじめ異動の時期ということもありますので、年度がかわりましたら統合準備委員会という形で、また新しいメンバーになれる方も出てくると思います。先ほど先生からもありましたけれども、第1回目といいますか、昨年度のスタートが遅れたことに大変申し訳ないと思っておりますので、学校でいいますと、4月にはPTA総会等がございます。それから、各校区でも役員の選出等がございますので、5月の連休明けくらいには人選をさせていただいて、年度の1回目の会を設けたいと思っておりますので、またお名前が挙がった際には、どうぞご協力をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>福江中学校の久瀬校長先生、コミュニティ・スクールのことはどうですか。よろしいですか。</p>
委員	<p>本校が平成31年4月、統合の年なのですが、コミュニティ・スクールという新しい学校の形に変わるということで、準備を進めております。何回か説明をさせていただいている部分もあるのですが、新しい形といいますのは、地域とともにある学校ということで、校長が示す学校運営方針というのがあるのですが、それについて、地域の代表の方々がそれに対して了承するという形の学校になります。それから、地域と学校がお互いに問題を共有しまして、例を一つとると、スマートフォンの使い方に、学校、家庭ともに困っているとなれば、それについて学校と家庭がそれぞれ考えまして、お互いにできることの守備範囲というのがあると思っておりますので、それをお互いに協力して解決していこうとか、または、学力問題をどのようにするかとか、部活動をどのように活性化するか、そういういろいろな課題を洗い出しまして、学校と地域が考えていく、または家庭が考えていくというような新しい形のものをつくろうと思っております。</p> <p>平成29年度は、教員がこのことについて勉強しました。来年度は、地域の方々、または保護者の方々に周知する1年にしたいと思っております。ちょうど2週間くらい前に周知用のパンフレットができましたので、来年度は各コミュニティ協議会の総会等にも顔を出させていただいて、周知をさせていただきながら、コミュニティ・スクールというものをつくっていきたいと思っております。</p>

	<p>これについては、ずっと続くものですので、平成31年度に完璧な姿にはできないかもしれませんが。皆さんでつくり上げていくもので、まず仕組みをつくり上げて、一緒に考えながら新しい学校づくりをスタートさせたいと思っておりますので、ご協力をお願いしたいと思います。また4月になりましたら、この会においても、パンフレットを持ってきて少し説明をさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、そのほかにご覧いませんか。</p>
委員	<p>すみません。</p> <p>来年度の予定というのは、今、わかっていますか。第1回目をいつごろやるのか。</p>
事務局	<p>5月の連休明けに、皆さんに日程を聞きたいのですね、代表の方々に。5月中には開催したいと思っています。</p>
委員	<p>その第1回の統合準備委員会のときに、残すところあと1年ということなので、この1年間の中で統合準備委員会が、この第1回目だけではなくて、ここで行うような計画は出ますか。</p>
事務局	<p>出します。そこで出さないと、計画が全て後手に回るといえるか、進んでいかなくなってしまいますので。待たないでございまして、そのスケジュールも入れ込んだものを、資料として出させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>それともう一つ、今日、統合準備委員会としてここで行われたことについては、地域全体に統合準備委員会だよりのような形で回りますか。</p>
事務局	<p>はい。作成して出します。</p>
委員	<p>すみません。ここで出てきたことが今回のこれで決まったということで、この方向で進むということで、それは全部出していただけるということでしょうか。</p>
事務局	<p>統合準備委員会だよりをつくらせていただいて、専門部会長にも当然見ていただいた上でお示ししますので、そこで、これはまだ調整中なのかどうかというものは、その中に含めさせていただきながら統合準備委員会だよりを作成します。決まったもの、あと1年で調整していくものという分けをしていきます。</p>
委員長	<p>今のところ、平成30年度は何回くらい、市としては予定をされていますか。</p>
事務局	<p>当初、全体のとときのスケジュールは出させていただいておまして、統合準備委員会としては3回を予定しています。ただ、専門部会の数のほうがもちろん多くなります。また、今は報告という形で来ておりますが、最終的には、決定するものは統合準備委員会で承認していただくことも出てきますので、その辺の回数も含めて、改めてもう1回調整をさせていただきます。</p>
委員長	<p>どうぞ。</p>
委員	<p>一つ、すみません。</p> <p>通学路の話で、道路の話なのですが、緑の毘沙門のところから259号へ出る道路の</p>

	整備はどういうふうになっていますか。通学バスが通るあたりの整備はどうなっていますか。
事務局	建設企画課で買収等を進めていく形になりますが、直接、統合の平成31年4月までに間に合うかというところ、そこは不透明な部分がありますが、将来的にも、この道路については、保美の信号の渋滞緩和につながる道路になると思いますので、進めていくという方針にはなっております。
委員	平成31年の初めから、そこは買うわけですね。
事務局	間に合うかどうかは微妙なところですね。
委員	間に合うか、間に合わないかは別にして、使うわけか。
事務局	はい。
委員	かなり狭いのですけれども。
事務局	そうですね。できるまでの間は、通常どおり保美の信号に向かうということも。バス会社が決まりましたら、またそこを試走してみてどうかというところを検討していきたいと思います。
委員	ここは、通るのは大型バスですよ。
事務局	大型です。
委員	先ほどの通学路の件で、ライフランドの横を通ることですよ。
事務局	はい。
委員	その道を買収するということですか。
事務局	そうですね。ライフランドのところまでは、国道からは広がっていると思いますので、そこから毘沙門のところは狭いので。
委員	その後、ずっとではなくて。
委員長	国道からライフランドまでは歩道つきになっていると思いますので、そこから先ですよ。
委員	それで、最後に259号とぶつかる場所というのは、信号も何もできない。
事務局	信号は、恐らく設置は難しいかと思えますね。
委員	そうすると、ここを曲がっていく。 スムーズに行くとは考えにくい。
委員	保美の信号よりは、多分。
事務局	そうですね。観光シーズンとか、そういう時間帯によっては、ずっと渋滞していると思うのですが、朝とかは、それほど信号からは、あそこまでずっとつながるということはないかと思えますので。
委員	それというのは、やはり朝に走ってみたり、そういうあれはやった結果でということなのですよ。
事務局	これから業者を決めてから試走します。
委員	わかりました。
委員	先ほど伊良湖岬中学校の清田校長も言われていますけれども、何しろ閉校式まで

	時間がなくてやきもきされていると思いますので、なるべく早めをお願いします。
事務局	はい。わかりました。
委員	行事予定等の準備もありますので。
委員長	そのほかにどうでしょうか。
委員	すみません。いいですか。
委員長	はい、どうぞ。
委員	通学路のところで、ちょうど西山地区というのが参考的な感じで載せてあると思うのですが、今、西山地区は全員自転車通学ですが、多分バス停として考えられているところに赤いしるしがついてあると思うのですが、これについては、希望すれば、ここで伊良湖から来たバスと一緒に乗せていってくれるのか、どのようにお考えなのでしょうか。
事務局	そこもここに入れさせてもらったのは、この生徒たちも距離的なところから考えると、こちらはむげにできない状態です。学校等の調整の中で、バスが運行するので、そこに乗る生徒がいるかどうかの調査などをさせていただきながら、そこで乗るとい希望がある場合には、乗れるだけの配慮はさせていただくと。ただ、学校としても、最終的には通学路としての、自転車で通える危険性がなければ、これまでどおり自転車でもいいという判断も多分出ると思いますので、全員が乗るかどうかは別として、ここに載せさせていただいた人数は、バスに乗っていける範囲の距離を持った生徒の人数をこの中に入れてあります。
委員	わかりました。
委員長	いいですか。
委員	はい。ありがとうございます。
委員長	はい、どうぞ。
委員	最初のときにも一度はお願いしたのですが、なかなか実現不可能という話なのですが、学校の前のバスが通る道なのですけれども、歩道がなくて本当に中学生が危ないのです。そこへまた大型のバスが、これは変な意味ではないのですけれども、子どもたちが自転車や道路で歩いている横をすり抜けるように通学バスが来ます。どちらがいい、悪いではないのですが、子どもと通学バスが事故を起こすようなことがあったら大問題だと思います。確か県道なのですぐには無理だという話を聞いたときに、5年後でも10年後でも、始めないとそれは変わらないので、いつまでたってもこの問題は、ずっと昔からだと思います。自分も十数年前に福江中学校に来たときから、ずっと課題になっていて、なかなか実現できない。ひょっとしたら15年前に動いていれば、今できたかもしれないということを1年前に伝えさせていただきました。本当に子どもたちが誰一人事故を起こさず、また加害者にも被害者にもならないようにしていきたいと思いますので、教育委員会、いろいろな部署の方もおりますので、県に働きかけていただいて、1日でも早く、1年でも早く歩道ができて、子どもたちが安全に通学できるようにご配慮をお願いしたいと思います。以上です。

平成30年3月27日(火)

委員長	<p>そのほかに、どうでしょうか。</p> <p>それでは、ないようですので、以上をもちまして第4回伊良湖岬中学校統合準備委員会を閉会させていただきます。お疲れさまでした。</p>
-----	--